

## 放射線治療品質管理機構の地域連携支援活動について

当機構では、すべての治療施設での出力線量の適正化をはかるためには、地域が協力して取り組むことが必要と考え、その枠組み作りのため、平成 29 年度(2017 年度)に地域連携支援ワーキンググループを立ち上げました。この活動は、地域の放射線治療品質管理士の協力のもと、他団体とも協議して行うものです。以下に昨年度の実績と今年度の計画を示します。

### 【地域連携支援ワーキンググループの活動目標】

1. 線量測定に関わる品質管理の均てん化のための地域ネットワーク(協力体制)を構築する。
2. 地域ネットワークを通じて、品質管理の脆弱な施設に支援を行う仕組みを構築する。

### 【各地区パイロットスタディの目的】

1. ネットワークをスムーズに活用するための方策(連絡網、相談窓口など)の整備。
2. 線量測定の QA・QC の脆弱な施設に対する具体的な支援策、支援方法に関するマニュアルの整備(実際に測定値が大きく異なる施設、あるいは不安な施設に対する支援手順の作成)。

### 【平成 29 年度活動実績】

1. 東北・北陸地区ブロック出力線量測定支援パイロットスタディ  
日時:平成 30 年 1 月 20 日、21 日  
会場:一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院  
参加者:福島県協力者、地区ブロック各県代表者、ワーキンググループ委員、その他

### 【平成 30 年度活動予定】

1. 第 34 回日本診療放射線技師学術大会  
シンポジウム「放射線治療の均てん化」  
日程:平成30年9月22日(土)  
場所:海峡メッセ下関 10F 国際会議場
2. 中国地区ブロック出力線量測定支援パイロットスタディ  
日程:平成30年10月27日(土)  
場所:広島がん高精度放射線治療センター  
参加者:広島県協力者、中国地区ブロック各県代表者、ワーキンググループ委員、その他
3. 四国地区ブロック出力線量測定支援パイロットスタディ  
日程:平成30年11月23日(土)  
場所:愛媛大学医学部附属病院  
参加者:広島県協力者、四国地区ブロック各県代表者、ワーキンググループ委員、その他

4. 関東地区ブロック出力線量測定支援パイロットスタディ

日程:平成31年2月23(土)、24日(日)

場所:自治医科大学さいたま医療センター

参加者:埼玉県協力者、関東地区ブロック各県代表者、ワーキンググループ委員、その他